

令和7年度 総合療育センター短期入所意見交換会

日 時:令和8年2月10日(火)14:10~15:00

場 所:療育センター 第1会議室

○短期入所活動報告

- ・きらきら棟では今年度の9月からショートステイ利用者の受け入れを始めています。
- ・日中活動支援として本の読み聞かせ、感触遊びなどで個々の反応を見たり、散歩などの活動を提供しています。好きな活動があればご家族からも教えていただきたいです。
- ・日中活動支援は個々の目標を立てて、一人ひとりにあった活動を行っています。遊びの選択が出来るようになるなど回数を重ねるごとに、変化がみられています。活動時の反応など毎回記録し、職員間で共有しています。
- ・日帰りでも入浴があれば良いといった要望がありますが、下校後リハビリが入っていたりと時間の確保が難しい現状があります。長期休暇中は、日帰り利用の方にも入浴を実施しています。良かったとの声も聞かれ、今後も続けていきたいと考えています。

○意見交換会

【災害時のセンターの受け入れについて】

- ・現在米子市に当センターを指定福祉避難所に指定してもらうようすすめているところです。避難する場所が決まっている人は指定福祉避難所に避難できます。
- ・センターを指定福祉避難所として登録するには市議会の承認が必要であり、市から今後進捗はあると聞いています。
- ・災害時の備えとして個別の避難計画を作成してもらう必要があります。本人、家族の同意を得て、家族の状況などを把握し、個別の避難計画を策定する動きが進んでいます。米子市から個別避難計画策定について手紙が届いていると思いますが、避難先として記載してあればセンターに避難できるようになります。
- ・ハザードマップ上ではセンター周辺に津波は来ないとなっています。水害で1番想定されることは日野川の堤防が決壊することで、3m近く水が来ると言われています。決壊のおそ

れがある場合、センター2階か、皆生養護学校スロープ上がってすぐの音楽室に避難となります。センター2階のコンセントは太陽光発電で、人工呼吸器やモニターの使用ができます。皆生養護学校には自家発電設備が無いため今後設置していく必要があると考えています。

・福祉避難所や指定福祉避難所の設置、運営は県ではなく市町村の役割となります。今日来られている方の中には米子市以外にお住まいの方もいると思います。お住まいの自治体によって災害対策に関する整備状況が違うので確認してください。災害時何が必要か個々で違うので、皆で考えていく課題だと思っています。

・センターへの避難は家族と一緒に前提となっています。センターには医療者がいますが、災害時には平常時と同様の人員体制確保は難しいと予想され、避難時のケアはご家族が中心となります。

【短期入所利用について ご意見・ご感想】

ご意見：利用しやすい曜日について教えてほしい。

回答：金、土、日の希望者が多く、調整に難渋しています。火、水、木は比較的少ないですが、一概には言えません。長期休暇中は希望が重なることが多いです。

現在、訪問型のレスパイト事業があります。訪問看護師が自宅を訪問し、家族はレスパイトできるというものです。このようなサービスの利用も検討いただければと思います。

ご意見：受け入れ人数を増やして、希望を通してほしい。

(現状、利用できる施設がここしかないので、なるべくお世話になりたい)

回答：6名+空床利用となっていますが、毎日6名とは限りません。医療ケアが必要な方、見守りが必要で一人で過ごせない方などもおられ、人員配置なども考えながら受け入れ調整を行っています。レスパイト事業や、他の事業所もあるので、一緒に考えていきたいと思っています。

ご意見：利用した日の様子が知りたい。

回答：連絡ノートで様子をお伝えしていますが、コロナ禍以降、ご家族が病棟内に入っていくことができなくなり様子が分からないというご意見もあります。きらきら棟ではケアの伝達のため、ご家族に中へ入ってもらい直接やり方を教わったことがあり、看護師からも良かったという声がありました。今後、家族に入ってもらうことを必要に応じて考え

ていきたいと思います。不安なことがあればその都度お尋ねください。

ご意見：利用前電話の時、電話に出た人が名乗らない。

回答：利用前日の電話の際、不快な思いをされたことについて申し訳ありません。年2回全職員に電話対応研修を行っており、今後も気持ち良い電話対応ができるよう指導していきます。

ご意見：物品や機械類は大事に扱ってほしい。(数が限られているので)

回答：命に直結する大事な機器で、数も限られていることを理解しています。機械も精密なものなので大切に取り扱い扱っていきます。今後も気になることがあればその都度スタッフに知らせていただきたいと思います。

ご意見：荷物は持って行った通りに返してほしい。違うところに入っていることが多い。

回答：物品が違うところに入っていたことについて申し訳ありません。センターでは利用前に荷物の写真を撮ることもしており、ご家族と一緒に確認することも考えています。他にもこのような方法にしてほしいなど要望があれば教えてください。

ご意見：洗濯業者で1日千円でタオル使い放題、病衣も使い放題というサービスがあった。そのようなサービスがショート時に利用できたら嬉しい。

回答：業者に問い合わせを行います。

ご意見：今は電話で予約ができるのがありがたい。欲を言えばネット予約できればありがたい。予約で空いている日が見えると良いかなと思う。

回答：予約状況の開示はセキュリティ上難しく、ネット予約システムを検討していきます。

ご意見：地震があった時、ショートステイやきらきら棟はどのような対応がされたのか知りたい。

回答：災害対策本部を設置し、怪我などはないか、上から物が落ちていないか確認をしました。そして津波の心配がないことを確認しました。病棟では、次の地震が起きてもケガ

など無いように対応を行いました。短期入所は利用者のご家族に連絡し、安全に迎えに来られる状況を確認し迎えに来てもらいました。

ご意見：災害時、センターに備蓄はどの程度あるのか。

回答：食料、おむつなど、利用者に関しては約1週間分の量を確保しています。